

# 平成28年度全国学力・学習状況調査の結果および考察

大阪狭山市立第三中学校

## 1. 本年度の学力・学習状況調査結果の概要について

- ・国語A Bおよび数学A Bの全区分において、平均正答率は全国平均の水準を全て上回っており、無解答率も数問を除いてほとんど全ての設問で全国平均を下回るという良好な結果を維持しています。
- ・全体的に根気強く各設問に取り組む姿勢が見られます。特に、国語、数学とも記述式の問題において丁寧に答えている傾向があらわれています。
- ・生徒質問紙調査からは国語や数学への学習意欲や関心が高い反面、自尊感情が低いという結果が出ています。

## 2. 各教科における成果と課題について

	成 果	課 題
国語 A 〈主として知識〉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国、大阪府の平均と比べ、文法関連の問題で正答率が高くなっています。また、無解答率が低いのも大きな成果と言えます。</li> <li>・「伝えたい事柄について、根拠を明確にして書く」ことや「話の展開などに注意して聞き、自分の考えと比較する」問題がよくできています。</li> <li>・「文の成分の照応について理解する」力がついてきています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章を読んで情景や様子をイメージする力が少し弱いと思われます。</li> <li>・文脈に即して漢字を正しく書いたり、読みだりする力に課題があります。</li> <li>・「語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う」ことや、「辞書を活用し、漢字が表している意味を正しく捉える」ことが苦手な傾向が見られます。</li> </ul>
国語 B 〈主として活用〉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図や記事の読み取りが比較的よくできています。</li> <li>・「文章の構成や表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えを具体的に書く」ことが求められる問題では、日々の授業での学習の成果が出ています。</li> <li>・全体的に無解答率は低く、あきらめずに問題に取り組む姿勢が見られます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「本や文章などから必要な情報を読み取り、根拠を明確にして自分の考えを書く」問題のような目新しい設問では、問題の意図を正しく把握しきれていない様子がうかがえます。</li> <li>・「文章の中心的部分と付加的部分とを読み分け、要旨を捉える」力に少し課題が見られます。</li> </ul>
数学 A 〈主として知識〉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国、大阪府の平均と比べ、「数と式」「資料の活用」に関する問題で正答率が高くなっています。また、無解答率が低いのも大きな成果と言えます。</li> <li>・「反比例を表した事象を選ぶ」問題や「反比例のグラフから式を求める」問題など関数に関する設問では、日々の授業での学習の成果が出ています。</li> <li>・「数学的な技能」に関する設問の正答率の高さから、基礎基本が定着していることがうかがえます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「数量や図形などについての知識、理解」の問題では、数学的な用語の正しい意味合いをきっちり理解して説明できる技能に課題が見られます。</li> <li>・「一次関数の式から変化の割合を求める」問題では無解答率が高いため、日々の授業で重点的に取り組む必要性を感じています。</li> </ul>

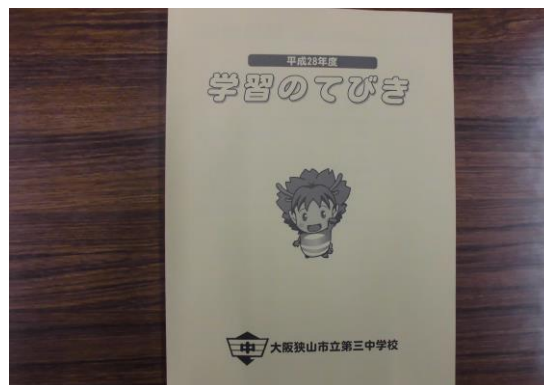
- ・全国、大阪府の平均と比べ、「数と式」「関数」「資料の活用」に関する問題で正答率が特  
に高くなっています。
- ・全体的に無解答率が低いことは、根気強く  
問題に取り組んでいることの表れであると考え  
られます。
- ・「事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を  
数学的に説明すること」を求められる問題で  
は高い正答率と低い無解答率になっており、  
数学的な見方や考え方が定着してきているこ  
とがうかがえます。

- ・「条件を基に、表から数量の変化や対応の特  
徴を捉え、 $x$ の値に対応する $y$ の値を求める  
こと」に課題があるため、今後の授業で重点  
的に取り組む必要性を感じています。
- ・「筋道を立てて考え、証明すること」など  
に関する図形の領域では、数学的な用語の正し  
い意味合いをきっちり理解して説明できる技  
能に課題が見られます。

### 3. 本校の学力向上に関する現在の取り組みについて



**少人数指導**：1年生数学・2年生国語で実施しています。生徒がそれぞれの考えを自由に発表する機会が多く、積極的な学習活動が見られます。



**学習のてびき**：学校と家庭とが連携しながら家庭学習の習慣化を図りたいと考え本校独自の家庭学習のてびきを作成し、配付しています。



**読書活動**：集会のない朝には読書に取り組んだり、定期的にビブリオバトルを実施することによって、生徒の読書活動が盛んになってきています。



**ICTの活用**：学習への興味関心を高めたり、学習内容をわかりやすく説明したりするために活用しています。今後も有効な活用を研究し、充実を図ります。

#### 4. 今後の取組みの方向性について

##### 【国語】

- ・漢字の定着に向けて、小テスト等の実施や指導の工夫・改善に一層重点を置いて取り組んでいきます。
- ・さらに語彙を増やしていけるよう、反復練習を重ねる指導を工夫していきます。
- ・1年間、3年間を見通した指導計画を立て、図や表、グラフなどの読み取りを取り入れるなど、さらなる授業内容の充実を図ります。

##### 【数学】

- ・授業では演習の時間を一層確保することを通して多くの問題に取り組ませ、実力をつけていきます。
- ・基本的な計算力を高めるために、今後も反復学習に重点をおいていきます。
- ・新しい内容の学習の中に既習事項の復習を取り入れた授業づくりに取り組むとともに、家庭学習課題の充実を図ります。

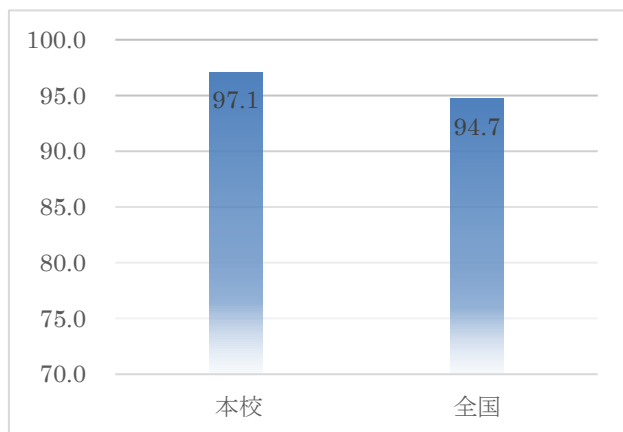
◎従来より本校で取り組んでおります、各教科の授業での「めあて（目標）の設定」「生徒の主体的な学習活動」「まとめ・振り返り」のある授業スタイルを今後も継続していきます。

◎今後も「学習のてびき」の内容を随時検討し、家庭との連携のもと家庭学習の充実を図ります。

#### 5. 生徒質問紙調査の結果の概要

##### 〈取組みの成果があらわれていたり、特徴的であると思われる事項について〉

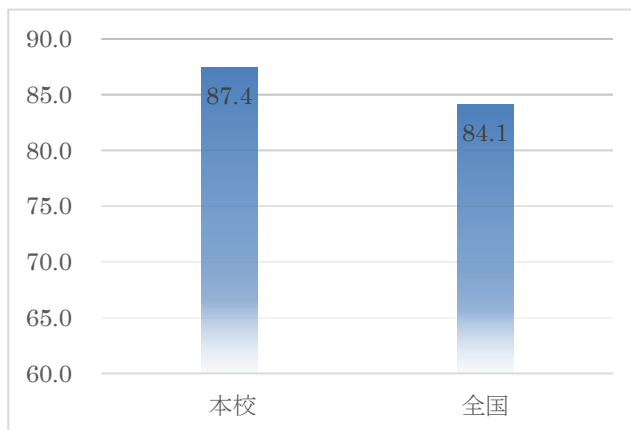
◎「学校で友達に会うのは楽しいと思いますか。」という質問に対して、



97.1%の生徒が肯定的な回答をしています。本校では、多くの生徒たちが、休み時間等でも楽しく歓談する姿が見受けられます。宿泊学習ではスタンプやクラスミーティングなどお互いの理解を深める活動に取り組んでいる成果であると思われます。

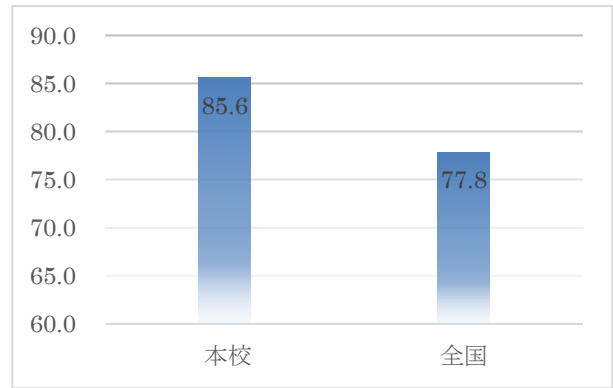
◎「1、2年生のときに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか」という質問に対して、

87.4%の生徒が肯定的な回答をしています。各教科で班や少人数のグループを利用した学習の機会を意図的に設定する中で、班内で各自が意見を発表したり、全体で意見交流できる場を積極的に持っていることで、取組みの成果が出ています。

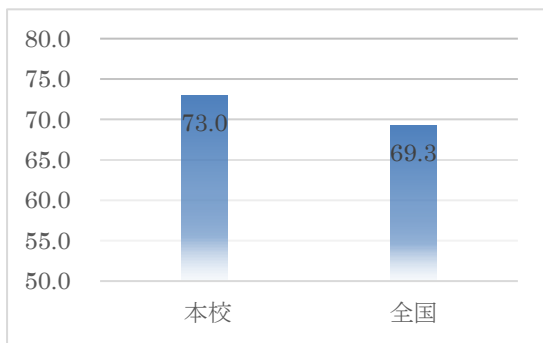


◎「1、2年生のときに受けた授業では、生徒の間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか」という質問に対して、

本校では、85.6%の生徒が肯定的回答をしており、全国平均よりも非常に高い結果が出ています。班や少人数での話し合いの機会を意図的に設定し、必要に応じて司会者、発表者、記録者などを決め、生徒間の話し合いがスムーズに進むよう工夫することで成果が出ています。



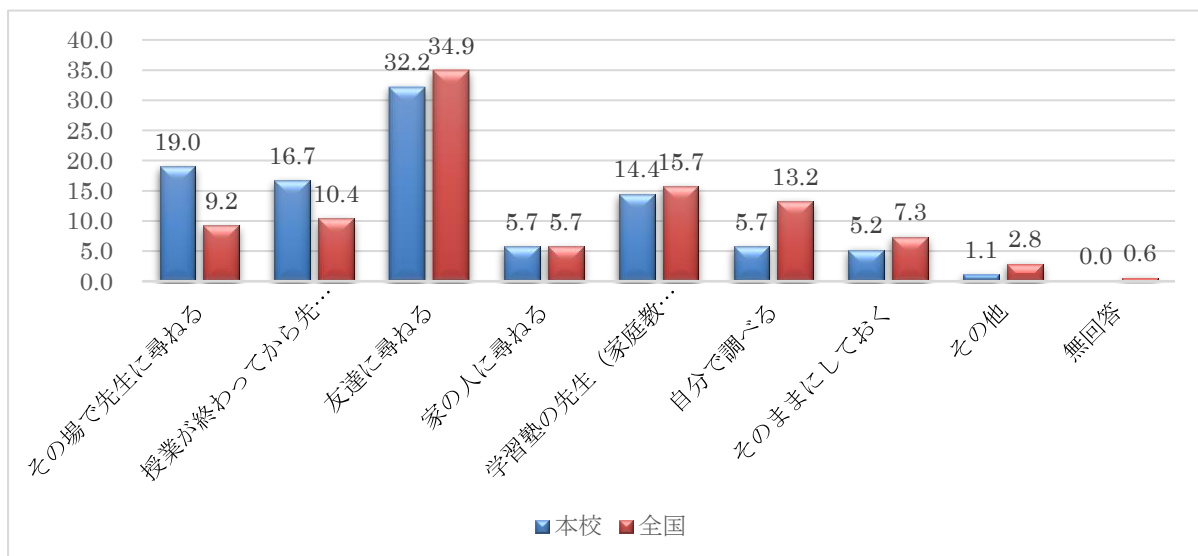
◎「1、2年生のときに受けた授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか」という質問に対して、



本校では、各授業の始まりに、「今日の目標」と「本時の流れ」を説明し、授業の見通しを生徒が持ちやすいようにしています。また、授業の終わり頃には、本時のポイントを再度押さえながら、まとめるようにしています。この結果、73.0%の生徒が肯定的回答をしています。

◎「授業の中で分からないことがあったら、どうすることが多いですか」という質問に対して、

授業の中での発問や指示を板書したり図示することで、わかりやすくし机間指導の時間を増やし、生徒からの質問に対応できるように工夫しています。また、テスト前に質問日を設定するなどして、生徒が教員に質問しやすい環境を作っています。このため、「その場で先生に尋ねる」や「授業が終わってから先生に尋ねに行く」という回答が多くなっています。



## ◎ 国語・数学の授業の改善（経年比較から）

国語・数学の授業に関する各質問に対する回答の結果は、概ね良好なものでした。

特に、右に示したように国語の授業での指導方法や言語活動に関する生徒の意識は、悉皆調査となった平成25年からの4年間で、各項目とも着実に肯定的な回答が増えてきており、授業の改善が図られている様子が明らかになっています。

特に本年度は、多くの質問で、肯定的な回答の割合は、全国平均を上回る結果となりました。

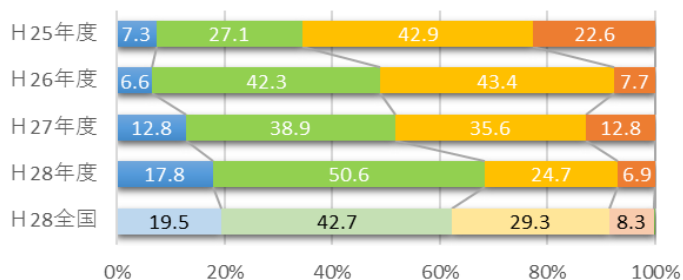
数学においても本年度は、

- 問題の解き方が分からないとき、諦めずにいろいろな方法を考える
- 授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える
- 問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考える
- 公式やきまりを習うとき、その根拠を理解するようにしている

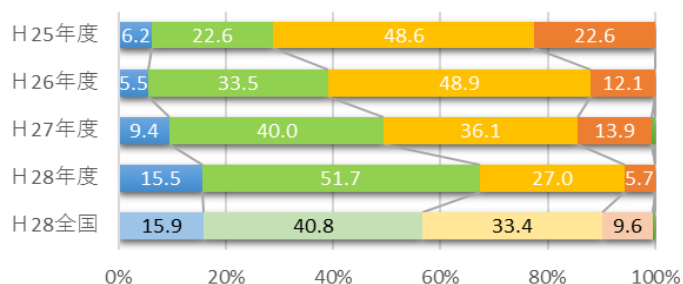
などの質問に対しての肯定的な回答の割合は全国平均を上回り、授業に対する意識が高いという結果となりました。また、経年比較でも各項目とも概ね改善が図られています。

今後とも各教科の効果的な指導方法を研究し、授業の改善を進めてまいります。

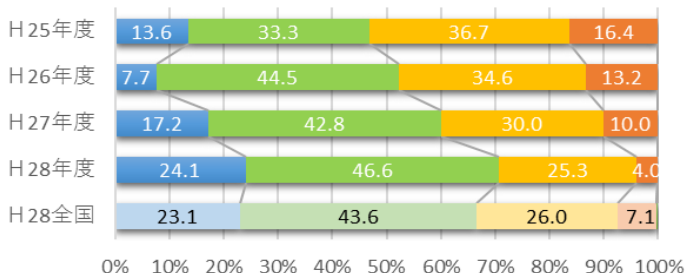
国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか



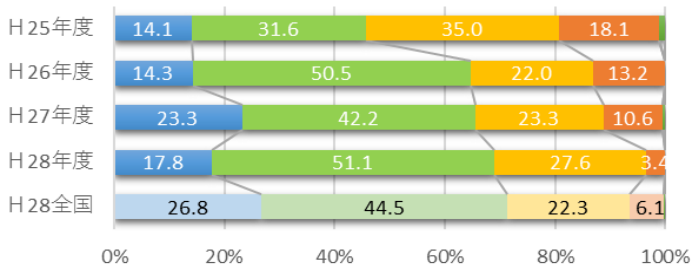
国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝えるように話の組み立てを工夫していますか



国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか



国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとめごとに内容を理解しながら読んでいますか



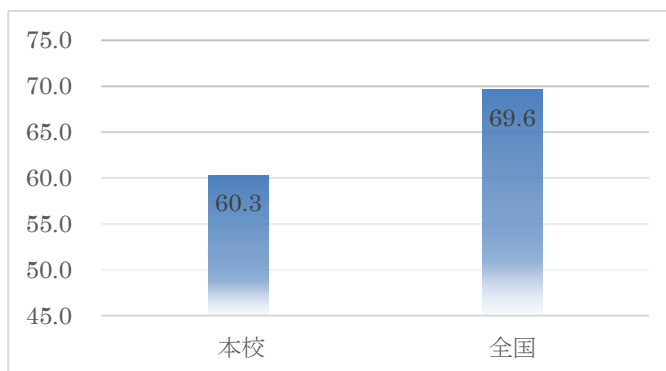
- 当てはまる
- どちらかと言えば、当てはまる
- どちらかと言えば、当てはまらない
- 当てはまらない



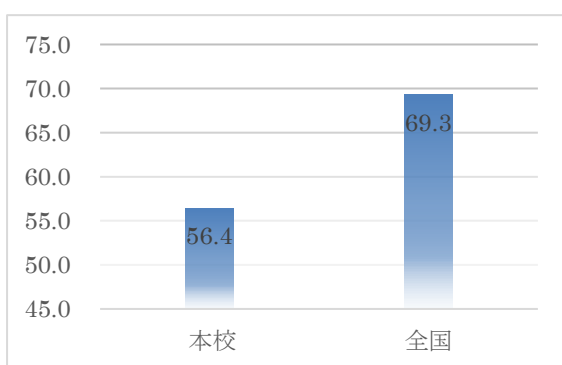
## ＜今後に向けて、課題と思われる事項について＞

◎「難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか」という質問に対して、

肯定的回答が、60.3%と非常に低くなっており、「失敗したら恥ずかしい」「失敗してはいけない」など、多感な時期であるがゆえ、力を出し切れていない状況が見られます。自己肯定感、自己有用感を高めるため、積極的に子どもたちを褒めること、認めることに重点を置きます。



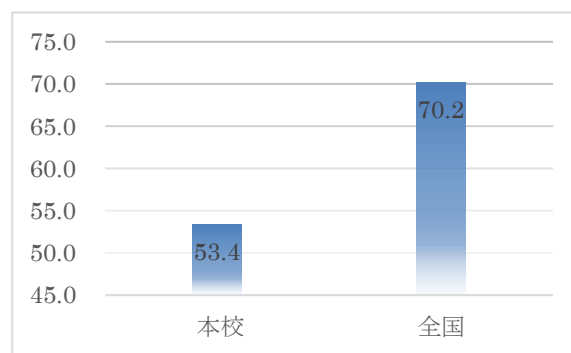
◎「自分には、よいところがあると思いますか」という質問に対して、



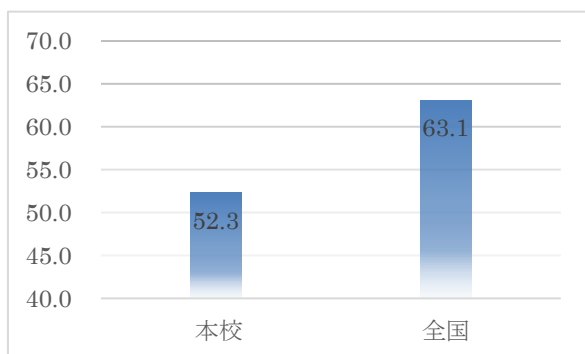
本校では肯定的回答が56.4%であり、「社会性測定用尺度」の調査でも同様の傾向が見られます。学年が高くなるにつれてこの傾向が顕著になるため、学校生活の中で自信を持たせ、自尊感情を高めていきたいと考えています。

◎「地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか」という質問に対して、

ほとんどの生徒は部活動等でボランティア活動に参加しにくい状況にあると思われるのですが、市の広報誌などでも周知されていますので、積極的に参加できるような雰囲気づくりを心掛けていきます。



◎「1、2年生のときに受けた授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか」という質問に対して、



各教科では、授業の終わりに「本日のまとめ」の時間を持つようにしていますが、肯定的回答を出したのは52.3%の生徒にとどまりました。今後も授業の中で、教員が授業の最後により一層意図的に振り返る場面を設定する必要性を感じています。

## 6. 保護者・生徒のみなさんへ

### 保護者のみなさんへ

- ・家庭での生活習慣の定着のためのサポートをお願いします。  
睡眠・食事などを規則正しく、しっかりと取れるようご協力をお願いします。
- ・家庭での学習習慣の定着のためのサポートをお願いします。  
決められた時間に学習できるように、また学習しやすい環境づくりにご協力ををお願いします。
- ・子どもとのふれあいを大切にしてください。  
子どもたちとの会話を大切にしてください。その中で、あいさつや言葉づかい、話し方などにも注意を払っていただければと思います。
- ・子どものことを認め、褒める機会を大切にしてください。  
子どもたちの自尊感情や自己有用感を高めるため、機を逃さず認め褒めてあげてください。自分を大切にできる子どもは、他人も大切にすることができます。

### 生徒のみなさんへ

- ・毎日の授業を、これまで以上に大切にしましょう。自分で考えたことを、自分の言葉で、しっかり伝えましょう。ほかの人の考えは自分の考えを深めてくれます。しっかり聞きましょう。
- ・家庭での生活習慣・学習習慣については、家族の人と話し合い、時間や環境は自分で決めたり、整えたりすることが大切です。目標と具体的な取組みの方法を決めて、できることを増やしていきましょう。  
～身につけたい学習習慣～
  - ① 自分で学習計画を立て、それを実行する。
  - ② 予習・復習をして授業に臨み、積極的に授業に参加する。
  - ③ ノートの取り方、まとめ方を工夫し、効果的に使う。
  - ④ 効果的な覚え方、考え方を身につける。
  - ⑤ テストの準備の仕方、返却されたテストの活かし方等についてよい習慣を身につける。